

## 社会福祉法人誠心会令和2年度事業計画

### 1. 経営理念

社会福祉法人誠心会は、福祉事業を通じて「お互いが思いやり、助け合いながら生きていくことができる、ぬくもりのある地域社会の実現」に向けて、誠心誠意尽くします。

### 2. 基本方針

#### (1) 利用者第一のサービス（利用者）

利用者を第一に考え、安心して快適な生活が送ることができるサービスを提供します。

#### (2) 生き活きとした職場（職員）

明るく、生き活きと安心して働き続けられる職場環境を創ります。

#### (3) 健全経営の取り組み（経営）

経営の効率化、業務改善を図り強固な財政基盤を確立して持続可能な法人を目指します。

#### (4) 地域社会との協働（地域社会）

地域社会と連携・協働により、共に生きる地域社会の実現を図ります。

### 3. 誠心会が目指すビジョン

「葛巻における誠心会ならではの、かけがえのない 値打ち(満足)」

#### (1) 利用者を満足させる事業展開（顧客の満足）

少子高齢化が急速に進む中で、高齢者福祉サービスの提供者として、利用者第一の考え方を基本に、利用者が満足するサービス提供を目指します。

#### (2) 活気ある組織づくり（職員の満足）

豊かな人間性と活気ある組織を育てます。人の絆を大切にしながら、お互いが助け合い、課題の改善や専門職としての意識を高めるための教育や研修に取組、いちまでもやりがいや働きがいを持てるような組織を目指します。

#### (3) 健全な財政基盤の確立（経営の満足）

措置から利用者契約制度への移行と民間参入の時代を迎え、今後共に生き残るためには、健全な財政基盤を築きながら継続した社会貢献事業ができるよう目指します。

#### (4) 地域支援、地域密着サービスの提供（地域社会の満足）

全ての人々が安心して暮らすことができる地域社会の実現のため、「地域との協働」の姿勢を維持し、多くの地域住民と手を取り合いながら様々な事業を展開し、地域社会で信頼され、選ばれた法人を目指します。また、温かい心を大切に、懇切丁寧に、お互いが支え合って生きていくことができる地域福祉の実現を目指します。

#### 4. 令和2年度の重点目標

- (1) 誠心会中長期経営プランに基づき、施設・設備等の改修により施設の延命化を図るとともに、利用者が暮らしやすい快適な生活環境の整備に努めます。
- (2) 利用者の自己決定と選択を尊重し、個人の尊厳が守られるよう、職員への倫理教育の充実を図るとともに、社会福祉法人後見制度等多様な資源の活用を努めます。
- (3) 働き方改革関連法の施行に伴う諸規程の改正や多様な働き方ができる新たな雇用形態の構築により、働きやすく、やりがいの感じ取れる職場づくりに努めます。
- (4) 職員の賃金水準の見直しや昇級、昇格制度を明確にすることにより、職員個々が自らの将来像を描けるような仕組みづくりに努めます。
- (5) 事業収入の安定確保、経費削減、財務管理の強化により、安定経営の確立に努めます。
- (6) コンプライアンス(法令遵守)の徹底、ガバナンス(組織統治)の確立に努め、健全な財務規律の確立を図ります。
- (7) 地域の身近なパートナーとして、地域住民が暮らしやすい社会への一躍を担うため、地域公益活動(あんしんサポート事業への参画等)を積極的に展開します。
- (8) 高齢者や障害者等の積極的な雇用、また生活困窮者等の中間的就労への協力等を通じ、多様な人材が活躍できる地域共生社会の基盤造りに努めます。

#### 5. 誠心会本部事業計画

月	内 容				摘要
	理事会	評議員会	監事監査	事務処理体制支援	
4					
5			決算	決算	
6	第5回(決算)	定時(決算)			
7					誠心会夏祭り
8			第1四半期分	第1四半期分	葛葉荘盆踊大会
9					敬老会
10	第6回				
11			第2四半期分	第2四半期分	
12					
1					
2			第3四半期分	第3四半期分	
3	第7回(予算)				

## 6. 各室の事業計画

### (1) 総務室

〈事業目標〉		
<ul style="list-style-type: none"> <li>・人材の確保・育成、定着を図るために方策の検討に努めます。</li> <li>・職員の処遇改善に係る諸規程の改正等、基盤整備に努めます。</li> </ul>		
今期の重点目標	実現のため具体的方法	区 分
<b>1 人材の確保・育成</b> 支援を必要とする人々と向き合い、寄り添い、支えながら、人間としての尊厳のもとに、より適切な福祉サービスや生活課題の解決のための支援に取り組むことができる人材確保と育成に努めます。	① 良質な人材確保のために、既存のホームページ、パンフレット、広報紙などの見直しを行うとともに、積極的な情報発信に努めます。(前期) ② 企業ガイドブックへ法人情報を掲載するとともに近隣の高校・専門学校等へ情報発信します。(前期)	強 化  継 続
<b>2 人材の定着</b> 働き方改革関連法の施行に基づき、職員が専門性を活かし生き生きと活躍し、やりがいを持って働き続けられる職場環境(魅力のある職場づくり)を構築し、人材の定着を図ります。	① 職員一人ひとりのワーク・ライフ・バランスと、企業による優秀な人材の確保や定着を同時に可能とするよう雇用の在り方について検証します。 ② 労働時間及び年次有給休暇取得状況の把握により、労務管理の適正化を図ります。	新 規  強 化
<b>3 利用料金の口座振替</b> 利用料金収納に関し、透明性を確保するとともに利用者の利便・経費削減を図るために、利用料金の自動振替サービスを導入・運用を図ります。	① 自動振替サービスについて検証します。 ② 導入に向けて体制整備を行います。	継 続 継 続
<b>4 不合理な待遇差の解消</b> 働き方改革関連法案の一つである「同一労働同一賃金」について検証し、各種規程の見直しを行います。	① 同一労働同一賃金について検証します。 ② 待遇差の状況を確認します。 ③ 待遇の目的、待遇差の理由を明確化します。 ④ 諸規程改正案作成します。	新 規 新 規 新 規 新 規
<b>5 職員処遇の改善</b> 特定処遇改善加算の取得により職員の賃金等の見直し・改善を行います。	① 近隣施設の賃金水準を把握します。 ② 収支見込額及び人件費を算出します。 ③ 改善計画を策定します。 ④ 諸規程改正案作成します。	新 規 新 規 新 規 新 規

## (2) 介護施設室

〈事業目標〉		
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 社会福祉施設職員としての自覚と思いやりを持って、安心・安全なサービスの提供に努めます。</li> <li>・ 家族、地域との交流を図りながら、関係機関との連携を密にし、信頼関係の構築に努めます。</li> <li>・ 施設内研修の充実を図りながら、施設外研修への参加により職員のスキルアップに努めます。</li> </ul>		
今期の重点目標	実現のため具体的方法	区 分
(生活相談)		
【高砂荘】		
1 利用者の個々の思いを尊重し、安心して生活が送れるよう丁寧な接遇に努めます。	<ul style="list-style-type: none"> <li>① 中間的就労支援、安心サポート相談員の地域貢献活動を推進します。(随時)</li> <li>② 眠り SCAN・センサー使用の状況を確認・検証します。(1月に1回、処遇委員会)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>新 規</li> <li>継 続</li> </ul>
2 働きやすい職場と職員の資質向上に向けた環境づくりに努めます。	① 内部研修会と外部研修会の年間計画を作成します。(前期、後期研修計画作成、伝達研修会の確立)	強 化
【すみれ荘】		
1 地域との連携を深め、利用者が快適な生活が送れるよう、サービスの向上に努めます。	<ul style="list-style-type: none"> <li>① 地域ボランティアを要請し、行事への参加促進を促します。</li> <li>② 職員間、職種間での情報交換の徹底を図ります。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>継 続</li> <li>強 化</li> </ul>
2 運営推進会議の開催により、家族と地域との信頼関係の構築に努めます。	<ul style="list-style-type: none"> <li>① 会議を定期的に開催します。(年6回定期開催)</li> <li>② 家族と地域の意向を傾聴しながら、サービス内容の充実を図ります。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>継 続</li> <li>継 続</li> </ul>
(介護計画)		
【高砂荘、すみれ荘共通】		
家族との面談の機会を多く持てるようにし、利用者や家族の意向や要望を反映したサービス計画の作成と、他職種と連携を図り、利用者が安心して生活が送れるよう努めます。	<ul style="list-style-type: none"> <li>① 利用者の身体状態・意向を確認し細やかなアセスメントを実施します。(7月・12月)</li> <li>② 家族の来荘時や電話、町内の方で来荘できない家族には、自宅へ訪問するなど定期的に状態報告と家族から意向・要望の聞き取りを実施します。</li> <li>③ 各居室担当者との意見交換や他職種で活動・支援状況の確認を行い、利用者の残存能力を活かす介護計画の作成に努めます。</li> <li>④ 外部研修、内部研修に積極的に参加し、介護計画の向上を図ります。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>継 続</li> <li>強 化</li> <li>強 化</li> <li>継 続</li> </ul>
(介 護)		
【高砂荘】		
1 利用者の心身の状況や本人の意向を尊重しながら、健康で安心した生活が送れるように努めます。	<ul style="list-style-type: none"> <li>① コミュニケーションの充実を図ります。(回想法を用いた誕生者の紹介)</li> <li>② 健康体操を実施します。(筋力低下を防ぐ体操 週3回) (自然排便を促す体操 週3回)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>新 規</li> <li>強 化</li> </ul>

<p>2 職員間の考え方、気づきを共有することで支援の統一を図りリスクを回避します。</p> <p>【すみれ荘】 健康で安心した施設生活を送れるよう、衛生面、環境面に配慮し、介護技術の向上を図りながら利用者の施設生活を継続できるよう努めます。</p>	<p>③ センサー使用による利用者の体調変化の早期発見に努めます。</p>	継 続
	<p>① 高砂荘会議での意見交換を行います。(月1回)</p> <p>② 各部会での研修・研究を実施し、接遇に特化した研修を実施します。(接遇部会2回、他の部会1回)</p>	強 化 継 続
	<p>① 個別外出支援を充実します。 (希望に沿った外出 年7回)</p> <p>② 業務の効率化を検討・評価し実施につなげます。 (月1回)</p> <p>③ 介護技術の向上のための研修会を開催します。 (3月に1回)</p>	強 化 継 続 継 続

### (3) 養護施設室

〈事業目標〉		
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 社会福祉施設の専門職として、常に誠意をもって丁寧な接遇に努め、信頼関係を深めます。</li> <li>・ 地域の方々との交流の促進を図ります。</li> <li>・ 職員の意識改革と質の向上に努めます。</li> </ul>		
今期の重点目標	実現のための具体的方法	区 分
(生活相談)		
1 利用者の自立に向けた施設生活が築けるように努めます。	<p>① ADL調査を実施します。(5月・11月)</p> <p>② 認知症調査を実施します。(6月)</p> <p>③ 満足度調査を実施します(12月)</p>	継 続 継 続 継 続
2 多職種との連携を密にとり、利用者が安心・安全に生活できる支援に努めます。	<p>① 個別処遇計画の評価及び再策定します。(2ユニット毎)</p> <p>② 定期相談の実施と評価を行います。(毎月1ユニット)</p>	強 化 強 化
3 地域との交流発信又ボランティアの受け入れを行い、関係機関との協力を努めます。	<p>① 各種団体との調整を行います。(随時)</p> <p>② 施設行事への地域住民の参画を促します。(6月・8月・12月)</p>	継 続 継 続
4 利用者へのサービス向上のため、専門職として資質向上に努めます。	<p>① 研修会を開催します。(4月、7月、1月)</p> <p>② 施設内危険箇所を点検します。 (6月、9月、12月)</p> <p>③ 外部研修会の情報伝達を行います。</p>	継 続 継 続 新 規
(支援一般)		
1 利用者がその人らしく安心した生活ができるよう支援します。	<p>① 筋力体操、脳トレーニングを実施し、評価・検証を行います。(毎月)</p> <p>② 趣味活動を実施します。</p>	強 化 強 化

<p>2 利用者の状態を把握し、介護・交流・趣味活動等を通じて、生活意欲向上につなげます。</p> <p>3 利用者に寄り添い行動を共にし、気持ち・感情にそった対応とADLの低下予防（転倒等）に努めます。</p>	<p>① 地域との交流を図ります。</p> <p>② 外出支援の提案・検証を行います。（隔月）</p> <p>① 傾聴・言葉かけを行います。</p> <p>② 歩行困難者リストについて職員間での確認の徹底に努めます。</p>	<p>継続 継続</p> <p>新規 強化</p>
--	--	-----------------------------------

#### (4) 通所事業室

〈事業目標〉		
<p>在宅で生活する高齢者が住み慣れた地域での生活が継続できるよう、地域や関係機関と連携し、ニーズに応じたサービス提供に努め、残存能力の維持、生活意欲の向上を促すと共に、家族の介護負担の軽減を図ることができる通所介護サービスの提供を目指します。</p>		
今期の重点目標	実現のため具体的方法	区 分
<p>(生活相談)</p> <p><b>【共通】</b> 利用者が在宅での生活が継続できるよう、本人・家族及び関係職種と連携し、ニーズに対応した個別援助に努めます。</p> <p><b>【葛巻デイ】</b> 地域のニーズの把握に努め関係機関と連携し、利用者が意欲を持ち地域で生活できる一助となるような事業所づくりと職員の資質の向上に努めます。</p> <p><b>【江刈・小屋瀬デイ】</b> 他職種連携と地域密着推進会議を通じ、ニーズに即したサービス提供と高齢者の憩いの場作りに努めます。</p> <p>(介護一般)</p> <p><b>【共通】</b> 利用者の能力や意欲を活かして生活できるよう、個別援助計画に沿った安心安全で楽しいサービス提供に努めます。</p>	<p>① サービス担当者会議の参加により、利用者、家族の情報を共有し、ケアプランに沿った他職種連携の個別援助計画を作成します。</p> <p>② 利用者アンケートを実施し、評価・分析します。</p> <p>① ケアマネ連絡会に参加し居宅支援事業所や関係機関との情報共有を図ります。</p> <p>② 外部研修・内部研修を計画し実施します。</p> <p>③ ボランティアを積極的に受け入れます。</p> <p>④ 家族懇談会の開催を計画し、実施します。(10月)</p> <p>① 地域密着推進会議を開催します。(9月、3月)</p> <p>② 地域ボランティアを積極的に受け入れます。</p> <p>① 個別援助計画に沿ったサービス提供に努め、評価を行います。</p> <p>② 合同研修会の実施(5月、8月、11月、2月)</p>	<p>強 化</p> <p>継 続</p> <p>強 化</p> <p>継 続</p> <p>継 続</p> <p>新 規</p> <p>継 続</p> <p>継 続</p> <p>強 化</p> <p>継 続</p>



<p><b>【葛葉荘】</b>  高齡化により、認知症の進行が多くみられるため、心身状況の把握に努め、他職種と連携し健康の維持に努めます。</p>	<p>① 疾病・疾患に対する個別指導を行います。(随時)  ② 利用者の健康状態の把握及び検証を行います。(6月、2月)  ③ 感染予防等に関する内部研修会を開催します。(6月、10月)  ④ 心身と環境の清潔保持に関する指導・助言を行います。</p>	<p>継 続  継 続  継 続  新 規</p>
<p><b>【各デイ共通】</b>  利用者の健康状態の把握に努め、他職種と連携し感染症の予防や健康状態の維持に努めます。</p>	<p>① 利用者の健康状態を把握し、検証を行います。(6月・2月)  ② 感染症予防等に関する内部研修会を実施します。(6月・10月)</p>	<p>継 続  継 続</p>
<p>(機能訓練)  <b>【高砂荘】【すみれ荘】</b>  生活リハビリや口腔体操にて身体機能を維持しながら、生きがいのある生活が出来るように努めます。</p>	<p>① 身体機能を把握します。(4月、10月)  ② 個別生活リハビリ計画の作成、評価を行います。(5月、11月)  ③ レクリハ、生きがい活動の実施、評価を行います。  ④ 嚥下体操(あいうべ)を実施します。(毎日)  ⑤ 生きがい活動、機能訓練意向調査を行います。(12月)</p>	<p>継 続  強 化  継 続  強 化  継 続</p>
<p><b>【葛葉荘】</b>  身体機能の維持及び低下防止のため、訓練の継続かに努めます。</p>	<p>① 他職種と連携し、筋力、脳トレーニングを実施します。(通年)  ② 機能訓練等に関する専門研修に参加します。(通年)</p>	<p>強 化  継 続</p>
<p><b>【各デイ共通】</b>  利用者個々の状態に合った機能訓練や認知機能の低下予防のリハビリの実施に努めます。</p>	<p>① 他職種協働によるリハビリ(レクリエーション)の企画し、実施します。  ② 身体能力調査の実施・評価を行います。(年1回)  ③ 口腔体操を実施します。</p>	<p>継 続  継 続  継 続</p>



(6) 栄養室

〈事業目標〉		
<ul style="list-style-type: none"> <li>・利用者の栄養状態の把握に努めながら健康に施設生活を継続できるように支援します。</li> <li>・施設内外の研修に参加し、知識の向上に努めます。</li> </ul>		
今期の重点目標	実現のため具体的方法	区 分
<p>【高砂荘】【すみれ荘】</p> <p>1 利用者の体重管理とともにBMIの数値が目標範囲に留まる割合増えるよう食事改善に努めます。</p> <p>2 職員間の考え方、気づきを共有することで支援の統一を図りリスクを回避します。</p> <p>3 利用者とふれあいの機会を多く設け、利用者の意向を反映したサービス計画の作成に努めます。</p>	<p>① BMI数値の確認と評価を行います。(健診後、随時)</p> <p>① 高砂荘会議、すみれ荘会議での意見交換を行います。(月1回)</p> <p>② 各部会、各委員会での研修に参加し、職種間での情報交換の徹底を図ります。</p> <p>① 栄養計画の一覧表を作成し、栄養計画・栄養ケア会議の内容の充実を図ります。</p>	<p>継 続</p> <p>新 規</p> <p>継 続</p> <p>継 続</p>
<p>【葛葉荘】</p> <p>1 給食提供方法と献立内容を精査し、安定した食事摂取ができるように努めます。</p> <p>2 嗜好調査の意見を取り入れ、入所者の満足度向上に努めます。</p> <p>3 他職種との連携を密にし、利用者の状態把握に努め、健康維持できるよう支援を行います。</p>	<p>① 個別食事提供表を作成します。(毎月)</p> <p>② 行事食等の内容及び提供方法等の指示書を作成します。(毎月)</p> <p>③ 入所者の希望・意見を給食内容に反映していきます。</p> <p>① 委託業者とのメニュー検討会を実施します。(毎月)</p> <p>① 食事摂取状況の把握と栄養状態の確認を行います。</p> <p>② 嚥下状態の確認、評価及び適正食事形態の検討を行います。(毎月1ユニット)</p>	<p>継 続</p> <p>継 続</p> <p>新 規</p> <p>継 続</p> <p>強 化</p> <p>継 続</p>
<p>【葛巻デイ】</p> <p>利用者の摂取状況を把握し、利用者の健康維持・改善に努めます。</p>	<p>① 嗜好調査を実施します。(9月)</p> <p>② 栄養教室、手作りおやつを実施します。(7月、1月)</p>	<p>継 続</p> <p>継 続</p>
<p>【江刈デイ・小屋瀬デイ】</p> <p>外部提供業者と連携し、食に喜びを感じられる食事提供に努めます。</p>	<p>① 嗜好調査を実施します。(9月)</p> <p>② 栄養教室、手作りおやつを実施します。(6月、12月)</p>	<p>継 続</p> <p>継 続</p>

## (7) 居宅訪問室

〈事業目標〉		
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 医療と介護、障害福祉との連携を図り、質の高いケアマネジメントの推進、相談支援、利用者の自己選択を尊重して、できることに目を向けたサービス提供を行い、在宅生活の支援に努めます。</li> <li>・ 地域包括ケアシステムの一翼を担うことができるよう、地域の関係機関との連携強化努めます。</li> </ul>		
今期の重点目標	実現のため具体的方法	区 分
<b>【事業センター】</b> 1 医療機関との連携を図り、サービス事業所と協力して医療ニーズの高い利用者に手厚いケアプランが提供できるよう努めます。  2 地域の見守り体制を構築に努めます。	① 入院時の迅速な情報提供と退院時のアセスメント強化を心掛け、退院支援及び在宅生活への移行を円滑に進められるよう関係機関等との連携を図ります。 ② 障害福祉制度の相談支援専門員と連携し、共生型サービスの促進を図ります。 ③ 事業所内の事例検討会を定期的に行うとともに、他事業所合同の事例検討会に積極的に参加し、介護支援専門員の資質の向上と専門性を高めます。 (事業所内検討会 年6回、合同検討会 年2回)	継 続   継 続  継 続
<b>【支援センター】</b> 1 地域包括ケアシステムの基本的な共通認識を持ち、支援活動に取り組みます。  2 介護予防事業を通じて地域の皆さんに交流の機会、運動機能維持のための場を提供し、健康長寿を支えます。	① 災害時において、リスクの高い利用者に配慮した防災カードの見直しと、危険箇所の把握を行い緊急時支援が円滑に行えるよう体制づくりに努めます。 ② 包括支援センターとの連携、ケアマネ連絡会等での情報を共有し、地域ニーズを把握した支援に努めます。	強 化  継 続
<b>【ヘルパーステーション】</b> (サービス提供責任者) 1 利用者の状態把握と情報共有に努め、居宅支援事業者と協力して適切なサービス提供に努めます。  2 業務内容の検証を行い、職員の資質の向上を図ります。	① 住民が地域の見守り、支援を受けながら安心して生活できるよう、生活課題を捉え包括支援センターへつないでいきます。 ② 地域ケア会議、研修会で得た日常生活に活かされる情報を地域の高齢者に提供していきます。 ① 家庭訪問調査時等に介護予防の必要性について啓蒙を行い、集いの場で体力維持・向上を促し身体機能の維持につなげます。	継 続  継 続  継 続
1 利用者の状態把握と情報共有に努め、居宅支援事業者と協力して適切なサービス提供に努めます。	① 利用者の話しやすい環境づくりを心掛け、ニーズの把握に努めます。 ② 居宅支援事業者及び関係機関との情報共有に努め、住み慣れた自宅での生活が継続出来るよう、ニーズに応じたサービスを提供します。	継 続  強 化
2 業務内容の検証を行い、職員の資質の向上を図ります。	① 介護技術研修を開催します。(年3回) ② 業務マニュアルを見直し、自立支援に効果的なサービス提供を目指します。	継 続 継 続

<p>(訪問介護員)</p> <p>1 介護技術、知識の向上を図り、ニーズに応じたサービスを提供し、利用者の自立を支援します。</p>	<p>① 各種研修会に参加し業務に対する知識、技術の向上に努めます。</p> <p>② 計画に沿ったサービスを提供するとともに、変化に対応できるよう素早い情報伝達に努めます。</p>	<p>継 続</p> <p>継 続</p>
---	---	-----------------------